



東城の夏の風物詩

第20回東城遊夏祭・8/13

No.2

東城小学校グラウンドで「第20回東城遊夏祭」が開催されました。

当日は、揚げたこ焼きやガレットなどたくさんの夜店が並び、来場者は食事をしたり金魚すくいを楽しんだり、3年ぶりの祭りを満喫しました。

ステージイベントでは月山翔雲 with 泉田文佳などの4組が、歌や演奏を披露し会場を盛り上げました。

またフィナーレでは約1,000発の花火が打ち上げられ、東城の夏の夜空を鮮やかな光で彩りました。

参加者は「3年ぶりの開催を楽しみにしていた。花火も見れて良かった」と話し、東城の夏の風物詩を心ゆくまで楽しんでいました。



▲ステージイベントも大盛り上がり

高野を満喫

日帰りキャンプ in 高野・8/9

No.1

高野地域自治振興区連絡協議会が、ふるさと村高暮で「日帰りキャンプ in 高野」を開催し、町内の小学1年生から中学1年生までの18人が参加しました。

晴天に恵まれたこの日、9時に会場に集合した参加者は、1時間ほど夏休みの宿題をした後、施設の前を流れる神野瀬川で、水浴びや飛び込み、魚探しなど、川遊びを楽しみました。

午後からは、窯を使ってのピザ焼きやスイカ割り、キャンプファイヤーをして、会場ににぎやかな声が響いていました。

参加者は、「川の水が冷たくて、とても気持ちよかった。来年もまた参加したい」と話しました。



▲神野瀬川で川遊び

地域で移住促進を考える

西城みらいミーティング・7/27

No.4

西城自治振興センターで「西城みらいミーティング」が開催されました。これは庄原青年会議所と地域価値向上委員会が中心となり発足した“組織の垣根を越え地域を巻き込んだ活動を行うチーム「西城みらいラボ」が主催するイベントです。

イベントでは、庄原市、雲南市、広島県の担当者が、移住定住に関する施策の実施状況や成果、地域で重視していることなどを説明しました。また、実際に庄原市に移住した人から、移住に至った経緯や魅力に感じていること、不便なところなどを話しました。

参加者は「移住した人にはこんなにも地域の自然が美しく見えるとは知らなかった」と話し、イベントを通して新しい発見があった様子でした。



▲各自治体の担当者が移住定住施策について議論

更生とは何か

「社会を明るくする運動」庄原市推進大会・7/27

No.3

庄原市ふれあいセンターで、「社会を明るくする運動」庄原市推進大会が開催されました。「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深めるための運動です。

当日は山田浩司広島保護観察所長から木山耕三市長へ、内閣総理大臣による同運動の推進メッセージが伝達されました。

その後、罪を犯した人の社会復帰を支援している山本晃二さんの講演会が行われ、受刑者の社会復帰に関する活動や、罪を犯した人と接する際の心掛けについて紹介されました。

参加者は「更生とは何かを改めて考えるきっかけとなった」と話しました。



▲講演する山本さん



6年ぶりの開催

総領夏祭り・7/16

No.6

里山を楽しむ町イベント実行委員会が、里山総領体育館で「総領夏祭り」を開催し、約400人が来場しました。

当日は、地域の皆さんによるヤマメの塩焼きや、かき氷などの出店が並び、館内では横谷神楽団による神楽の公演が行われました。

神楽は妖術使いとなった平将門の娘を陰陽師が討伐する「滝夜叉姫」や「土蜘蛛」「東大和」の3演目が上演され、来場者は紙吹雪や花火を使った、迫力ある演出を楽しみました。

6年ぶりの開催となった総領夏祭りは、地域外からもたくさんの方が来場し、大盛況の1日となりました。



▲横谷神楽団による「滝夜叉姫」の演舞

災害時にどう行動する？

防災研修会・7/26

No.8

口和自治振興区が主催する「ひろしまマイ・タイムライン作成セミナー」が口和自治振興センターで開催されました。

「マイ・タイムライン」とは、災害発生時に「いつ」「誰が」「何を」を時系列で整理したもので、災害への備えとして非常に大切な取り組みです。

当日は住民など32人が参加し、家族構成や生活環境に合わせて「マイ・タイムライン」を作成し、災害発生時の初期行動や準備をどうするか話し合いました。

講師の福田豊明地域マネージャーは「マイ・タイムラインを作ることで、行動が整理され避難のきっかけにもなる。家族で話し合いマイ・タイムラインに沿った行動が取れるようにしてほしい」と話しました。



▲自治会ごとに分かれてマイ・タイムラインを検討

吾妻山の自然と触れ合う

第34回吾妻山グリーンラリー・8/8

No.5

比和自然科学博物館が8月8日の「葉っぱの日」に「吾妻山グリーンラリー」を開催し、13チーム46人が参加しました。

グリーンラリーは、吾妻山の自然の中をハイキングしながら、クイズに挑戦し、体力づくりと共に自然との触れ合いを深めるゲームです。当日は午前中に、樹木の種類を見分けるための勉強会が行われ、午後からは吾妻山で、植物に関するクイズが開催されました。

参加者は木の名前を当てるクイズなど、15問のクイズに挑戦し、クイズを終えた人は「細かく観察することで木の種類を知ることができ、吾妻山の散策がさらに楽しくなった」とうれしそうに話しました。



▲クイズに挑戦する参加者

自ら育てて食を学ぶ

西城小学校食育教室・7/27

No.7

西城町油木地区で西城小3年生18人が、5月に自分たちで種をまいたトウモロコシを収穫しました。

この体験学習は、収穫までの一連の作業を体験することで、児童に食の大切さを知ってもらおうと、西城地区公衆衛生推進協議会と前油木営農組合の協力の下、毎年開催されています。

児童は同組合の高原芳典組合長から手順を教えもらい、協力してトウモロコシを収穫していきました。

高原さんから「生で食べてみんな」と促された児童は取れたばかりのトウモロコシにかぶりつき「すごく甘くてみずみずしくておいしい」「バーベキューで食べてみたい」とうれしそうでした。



▲取れたてのトウモロコシを丸かじり